

次期学習指導要領等に向けたパブリック・コメントへの意見

【意見案 1】 分類番号：②

意見の分類：② 第 1 部 2. 次期学習指導要領に向けた基盤となる考え方

意見本文

持続可能な社会の創り手を育成する観点から、エネルギー利用（原子力発電）に伴い発生する高レベル放射性廃棄物の地層処分等の長期的課題について、児童生徒が主体的に考察する学習機会を充実させることを要望します。

その際、多様なエネルギー源や発電方式について、安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合性、発生する廃棄物の管理・処分等の観点から、それぞれの特徴、便益及び課題を信頼できる資料やデータに基づいて比較・考察し、自らの考えを形成するとともに、異なる意見を尊重して対話する資質・能力の育成を、教育課程全体に関わる視点として位置付けることが望まれます。

また、エネルギー利用に伴って発生する廃棄物の管理・処分など、現在及び将来の世代に関わる長期的課題についても、エネルギーの便益と併せて学ぶことができるよう、学習内容及び指導事例の充実を要望します。

【意見案 2】 分類番号：⑭

意見の分類：⑭ 第 2 部 2. (2) 社会、地理歴史、公民

意見本文

社会科、地理歴史科及び公民科の改善に当たっては、エネルギー資源の選択をめぐる課題並びにエネルギー利用に伴う環境負荷や廃棄物等の長期的課題を、持続可能な社会の形成に関わる現代的・実践的な学習課題として位置付け、内容を充実させることを要望します。

資源の多くを海外に依存する我が国において、国民生活や経済を支えるエネルギーの確保は、主権者として主体的に考察すべき重要な課題です。多様なエネルギー源や発電

方式について、安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合性等の観点から、それぞれの特徴、便益及び課題を比較・考察する学習が求められます。

特に、原子力発電に伴って発生する高レベル放射性廃棄物の管理・処分及び将来世代との関係について、科学的、社会的、経済的、地域的及び世代間の観点から多面的・多角的に考察し、自らの考えを形成するとともに、異なる立場や意見を尊重して対話する学習の充実が望めます。高レベル放射性廃棄物の地層処分は、エネルギー政策、地域社会、科学技術、環境及び将来世代への責任等が関係する長期的課題であり、こうした資質・能力を育成するための題材の一例として活用することを要望します。

【意見案3】分類番号：⑯

意見の分類：⑯ 第2部2. (4) 理科

意見本文

理科の改善に当たっては、自然や社会の事象について、観察・実験の結果や科学的知見に基づき、客観的、論理的に考察する資質・能力を育成する学習の充実を要望します。

その題材の一例として、エネルギー利用（原子力発電）に伴い発生する高レベル放射性廃棄物の地層処分は、放射線、物質、地層・地質、地下水、自然現象の長期的変化など、複数分野の科学的知見を関連付けて考察できる課題です。地質環境の長期的変化や地下水の挙動、放射性物質の閉じ込めに関する考え方などについて、科学的知見や不確実性も含めて考察することにより、科学が現実社会の課題の理解や解決にどのように関わっているかを学ぶことができます。

科学技術の可能性だけでなく、その前提、限界及び不確実性にも目を向け、信頼できる資料やデータに基づいて批判的に考察する学習を、次期学習指導要領に向けて検討されている、小学校段階の「理科と日常生活」、中学校・高等学校段階の「科学ガイダンス」及び高等学校の「科学と人間生活」においても、発達段階や各科目の趣旨に応じた題材例として示すことに加え、理科の範囲にとどまらず社会科、公民科及び総合的な探究の時間等とも関連付けて充実させることを要望します。

【意見案 4】 分類番号：②⑥

意見の分類：②⑥ 第 2 部 2. (14) 総合的な探究の時間

意見本文

高等学校等における「総合的な探究の時間」において、原子力発電に伴って発生する高レベル放射性廃棄物の管理・処分等への対応は、原子力を長期的に利用していくに当たっての重要な課題であり、自然科学と人文・社会科学の知見を関連付けて考察する文理横断的・文理融合的な探究の題材の一つとして活用できるよう、指導事例を充実させることを要望します。

高レベル放射性廃棄物の管理・処分は、エネルギーの安定確保、脱炭素化、環境保全とも深く関係し、自然科学的な安全確保に加え、地域社会との対話、将来世代への責任、経済性及び制度の在り方など、複数の観点が関係する課題です。不確実性を伴う長期的課題について、客観的な資料やデータに基づき、多様な視点から考察し、対話を通じて合意形成の在り方を探究することは、科学的に考察する力と社会の課題に主体的に関わる態度を育成する上で有意義であると考えます。

以上